

AOなど早期入試は 生徒の能力を摘み取る

笠間待男 KASAMA Matsuo

神奈川県立横浜国際高等学校教頭



早期から十分に進路研究をして、目的の大学に入学したにもかかわらず、「期待外れ」を訴える卒業生が少なくない。しかもそのような事例は離隔といわれる大学に比較的多い。

訴えの中身を紹介すると、①極端にむずかしくたり、あるいは、やさしすぎたりで、学生の学力をまったく考慮していない授業、②学内外の評価機関の存在を疑うような旧態依然の一方的な講義、③語学の授業レベルがあまりにも低く、専門学校に行かざるを得ない質的水準、④早期合格者や内部進学生との学力差から生まれる授業の停滞感、などさまざまである。

先日、ある大学の産学連携研究会に参加する機会があった。ロボット、建築、電子ビーム、人工衛星の開発などまさに最前線そのもので、研究に携わる大学院生や学生の旺盛な研究意欲と研究内容の質の高さにたいへん驚いた。

いったい大学のどちらの面を見て、生徒に進路指導をしたらよいか、より悩みが深まってしまった。

2008年から学士課程においてもFD（ファカルティ・ディベロップメント）が義務付けられている。文部科学省はFDを「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称」と説明している。こうした流れから、

どの大学でも学生による授業評価が実施されており、その結果について公表されているはずだ。

重要なのは、こうした取り組みが公表だけでなくとどまらず、学生からの評価が低い授業は改善させる、改善できなければ教員を交代させる、といった権限までを評価機関が持ち得るかどうかがである。

FDが形式的な取り組みにならないよう、各大学の今後の取り組みに注目したい。18歳人口の減少による定員割れの危機感から、多くの大学がAO入試、推薦入試の拡大や受験科目削減に移行している。特にAO入試は早期に合格が決定するため、夏休み以降授業に身が入らない生徒が流出しており、高校教育の現場で

ランキングの見方

2009年10月、全国の進学実績のある高校1200校の進学指導担当教諭宛てにアンケートを送付。12月上旬までに回答のあった272校分を集計。質問内容は次のとおり。①卒業生や保護者の質から「生徒に勧めたい」と思う、②進学先で生徒が伸びたと思われる、③進学先で生徒が伸び悩んだり不満を抱いているように思われる、④受験生への情報開示に熱心、入試などの問い合わせに親切だと感ずられる、⑤新設大学で注目している——以上に該当する大学をそれぞれ6校まで記入してもらい、その件数でランキングをつくった。また、各項目について1位の件数（人数）を100として指数化した。さらにそれを合計して位になった大学を100として総合評価を表した。



高校からの評価

総合評価(全国、地域)

全国(1~35位)

大学	勤める	伸びた	熱心	指数評価
1 東北大	74.5	100.0	86.8	100.00
2 東京大	100.0	99.2	40.4	88.63
3 立命館大	17.3	31.7	100.0	37.06
4 慶應義塾大	51.4	60.0	8.8	36.03
5 筑波大	28.2	40.0	28.1	36.00
6 大阪大	40.8	45.0	8.8	35.33
7 京都大	63.5	47.5	9.6	33.40
8 中央大	15.3	30.0	51.8	31.63
9 東京理科大	19.2	48.3	6.1	28.01
10 山形大	12.2	20.8	36.8	25.57
11 東京工業大	27.1	30.8	5.3	24.86
12 国際基督教大	25.1	31.7	7.0	24.15
13 新潟大	11.0	12.5	37.7	24.08
14 一橋大	37.3	26.7	3.5	23.76
15 九州大	27.1	27.5	9.6	23.37
16 金沢工業大	10.2	24.2	22.8	22.50
17 岩手大	8.2	14.2	31.6	21.24
18 広島大	12.9	17.5	25.4	21.01
19 群馬大	6.7	13.3	28.9	19.24
20 早稲田大	45.9	66.7	36.0	19.12
21 国際教養大	10.6	25.8	11.4	18.80
22 北海道大	23.1	22.5	9.6	17.98
23 名古屋大	24.3	22.5	4.4	17.35
24 立教大	12.5	15.8	30.7	15.74
25 明治大	19.2	22.5	26.3	14.56
26 同志社大	13.7	18.3	17.5	13.85
27 九州工業大	9.0	15.8	8.8	13.22
28 秋田県立大	5.9	16.7	7.9	12.00
29 神戸大	13.7	16.7	4.4	11.80
30 岡山大	8.6	14.2	11.4	11.57
31 津田塾大	8.2	16.7	4.4	11.53
32 関西学院大	7.5	12.5	24.6	10.98
33 福島大	7.5	10.8	7.9	10.31
34 金沢大	9.0	10.0	11.4	10.07
35 立命館アジア太平洋大	4.7	11.7	8.8	9.91

北海道・東北

大学	指数評価
1 東北大	100.00
2 山形大	25.57
3 岩手大	21.24
4 国際教養大	18.80
5 北海道大	17.98
6 秋田県立大	12.00
7 福島大	10.31
8 弘前大	5.86
9 公立ほくたて未来大	5.27
10 小樽商科大	3.03
11 会津大	2.79
12 秋田大	2.52
13 東北芸術工科大	2.16
北星学園大	2.16
15 室蘭工業大	2.01

関東

大学	指数評価
1 東京大	88.63
2 慶應義塾大	36.03
3 筑波大	36.00
4 中央大	31.63
5 東京理科大	28.01
6 東京工業大	24.86
7 国際基督教大	24.15
8 一橋大	23.76
9 群馬大	19.24
10 早稲田大	19.12
11 立教大	15.74
12 明治大	14.56
13 津田塾大	11.53
14 電気通信大	8.30
15 武蔵大	7.36

©——2009年

は大さな問題となっている。東北大学のようにAO入試が高く評価されている例もあるもので、すべてが安易なものとはいえない。しかし、実際には、早期入学者の確保が目的と思われるケースが数多く見られる。

受験生自身が主体となることに意義のあるAO入試であるが、その手ほどきを専門とする予備校まで出現しているのは驚く。本来、入学試験は高校の授業の延長線上にあり、3年生後半での学力の伸びは特に著しい。

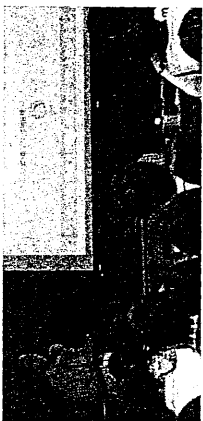
早期入試制度は学力低下を招くばかりでなく、受験生の伸びる芽を摘み取るとともに、彼らが地道に努力をする貴重な体験の剥奪にもなっている。AO入試制度の廃止を含め、高校現場に影響がないような制度改正を強く望みたい。

入試方法別入学者数、在学者数、退学者数が大学選びの指標になる

大学が学力向上をめざすならば、入試のハードルを上げ、たとえ定員に満たなくても、一定の学力がなければ合格させなければよい。とはいっても、高等教育の拡大自体は評価すべきことであり、単に学力のみでその門戸を閉ざすのも現実的ではない。

したがって、大学はたとえ低学力であっても、現在の高等学校がそうであるように、学お意欲のある学生に対しては、勉学を促し育てる学士育成を重点に置いた授業改革に真剣に取り組むべきである。

また、文部科学省も在籍者数が定員の半数に満たない大学でも、教育内容が一定の質を満たしていれば、私学助成金の打ち切りをしないなどの配慮をすべきである。そうでもしなければ、大学はさらに教育や研究をおろそかにし、受験生集



総合評価で6年連続1位となった東北大。同大学の大学院生命科学研究所の渡辺正夫教授が高校生対象の「科学者の卵 養成講座」で研究者への道のりを語る(09年9月)

めに奔走するだけである。これから生き残る大学は資産運用や受験生集めの上手な大学であってはならない。

こうしたなか、08年から教育再生懇談会の場で、新たに設ける学力検査「高大接続テスト」の実施について検討されている。これはAO入試、推薦入試が学生の学力低下につながっていることを問題視し、①入学生の最低限の学力担保、②高校の指導改善や大学の初年次教育などに、高大が任意に活用できるものをめざしている。

さらに注目すべきは、09年11月、文部科学省が大学設置基準に義務づけている教育情報の公表内容の拡大を、諮問機関である中央教育審議会大学分科会に示したことである。

これまで大学側が積極的に公表してこなかった「退学者率」、AO入試、推薦入試での入学者数がわかる「入試方法別の入学者数」、さらに定員割れの実態を知ることができ「在学者数」などが含まれており、受験生の大学選びの指標になることが期待される。

実施方法や時期について今後さらに検討がなされることになるが、これらの改革が大学の積極的な情報公開、受験早期化による学力低下の歯止めにつながり、大学側にも受験生にとっても有意義なものとなるよう期待したい。



高校からの評価

総合評価(全国、地域)

全国(36~68位)

大学	勤める	伸びた	熱心	指数評価
36 電気通信大	6.7	8.3	6.1	8.30
37 名古屋商科大	2.0	5.0	21.9	7.63
38 武蔵大	4.3	8.3	6.1	7.36
39 高知工科大	3.9	9.2	5.3	7.24
40 千葉大	6.7	16.7	10.5	6.77
41 上智大	11.0	15.0	2.6	6.57
42 名古屋工業大	3.9	8.3	4.4	6.53
43 北九州市立大	2.7	4.2	9.6	6.49
44 学習院大	5.1	5.8	7.0	6.10
45 熊本大	5.5	5.8	8.8	6.02
46 弘前大	2.7	5.0	9.6	5.86
47 関西大	5.9	7.5	32.5	5.86
48 大阪市立大	4.3	6.7	3.5	5.70
49 成蹊大	4.3	5.8	6.1	5.43
50 公立ほくたて未来大	3.9	2.5	7.0	5.27
51 高崎経済大	3.1	6.7	3.5	5.23
52 東京女子大	4.7	7.5	0.9	5.15
53 岐阜大	2.7	6.7	3.5	5.07
54 東京農工大	4.3	4.2	6.1	4.80
55 横浜国立大	5.5	9.2	1.8	4.60
56 西南学院大	2.4	1.7	12.3	4.56
57 埼玉大	2.7	6.7	7.9	4.01
58 島根大	1.6	4.2	4.4	4.01
59 愛媛大	2.4	4.2	3.5	3.97
60 東京外国語大	5.9	10.8	0.0	3.78
61 長崎大	2.4	4.2	5.3	3.74
62 愛知大	2.4	2.5	4.4	3.66
63 山口大	2.4	3.3	3.5	3.62
64 信州大	5.5	5.0	0.9	3.54
65 京都女子大	2.7	4.2	4.4	3.50
66 同志社女子大	2.0	3.3	3.5	3.46
67 国際医療福祉大	1.6	2.5	7.0	3.42
芝浦工業大	0.8	4.2	6.1	3.42
茨城大	3.1	7.5	4.4	3.11
神奈川大	2.0	4.2	8.8	3.11

中部

大学	指数評価
1 新潟大	24.08
2 金沢工業大	22.50
3 名古屋大	17.35
4 金沢大	10.07
5 名古屋商科大	7.63
6 名古屋工業大	6.53
7 岐阜大	5.07
8 愛知大	3.66
9 信州大	3.54
10 長岡技術科学大	2.83
11 静岡大	2.32
12 都留文科大学	2.28
13 山梨大	2.05
14 三重大	1.89

近畿

大学	指数評価
1 立命館大	37.06
2 大阪大	35.33
3 京都大	33.40
4 同志社大	13.85
5 神戸大	11.80
6 関西学院大	10.98
7 関西大	5.86
8 大阪市立大	5.70
9 京都女子大	3.50
10 同志社女子大	3.46
11 神戸女学院大	3.11
12 京都工芸繊維大	2.44
13 佛教大	2.20
14 武庫川女子大	2.12
15 奈良女子大	1.61